レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実（ひょうご女性の活躍推進事業等）	部（局）	県民生活部
		所管課	男女青少年課
		担当班	男女共同参画班
		連絡先	078－362－3160

開始年度	平成27年度	終了年度	―	関連計画等	県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2030」
事業区分	☑ 国補助事業　□ 県単独事業				
実施方法	☑ 直執行　□ 委託　□ 補助　□ その他（　　）			実施主体等	県

事業目的	県内企業の女性活躍推進のため、県男女共同参画センターに「女性活躍推進センター」を設置し、職場における意識改革や女性の登用の促進、働きやすい職場環境整備等を行う企業を支援し、社会全体の気運の醸成を図る
事業概要	１ 女性活躍推進センターの運営：女性活躍推進専門員を設置し、企業への訪問による個別相談を実施 ２ 女性の活躍企業育成プロジェクトの実施：意欲のある企業に対し、アドバイザー派遣等により地域・業種のモデル企業として育成 ３ 企業の女性社員向け階層別社員研修会（管理職、中堅、若手向け）の実施 ４ 女性の活躍応援セミナーの開催：市町・団体等と連携し、企業トップ・管理職等向けのセミナーを開催
業務フロー	１ 女性活躍推進専門員が、要望のあった企業を訪問し、相談 ２ 意欲のある企業に対し、個別相談実施 → 職場の意識改革等ｾﾐﾅｰ企画 → 専門講師の派遣 → 企業でのセミナーを実施 ３ 中小企業等へ募集 → 階層に応じたｽｷﾙｱｯﾌﾟ、社外でのﾈｯﾄﾜｰｸづくりを目的とした研修を実施 ４ 市町・団体等へ募集 → 要望のあった市町・団体等と連携し、地域ごとの分析等を踏まえた、企業トップを集めたセミナーを開催
R5レビュー時の外部委員会意見	・企業トップが女性活躍にやる気を持てば、一気に社内での取組につながるので、企業トップへの働きかけを強化すべきである。 トップセミナーを開催することとし、その開催回数をアウトプット指標にすべき。 ・業種ごと地域ごとのミモザ企業の割合を分析すべき。 ・地方の中小企業で活躍する女性をアンバサダーとして、取組を情報発信してもらってはどうか。 ・ミモザ企業だけの合同説明会など、ミモザ企業と認定されることのメリットも積極的につくっていくべき。 ・中小企業の中の女性活躍で取り上げられる企業が限定化されている。幅広く拾い上げ、さらなる好事例を共有すべきである。
改善結果 改善状況 取組過程	・ミモザ企業認定育成のため、女性活躍推進専門員を１名増員し、社員の意識改革や企業トップ等への働きかけを強化し、経営者・管理職等を対象とした研修を企画するなど、支援内容の改善を図った。 ・企業トップへの働きかけを強化するため、市町や経済団体等と連携し、経営者・管理職向けの意識改革、女性活躍の取組を促すためのセミナーを開催（実績：R6年度 11市１団体、R7年度 11市（12回）１団体）し、開催回数をアウトプット指標に追加。セミナーでは各地域のお手本となる中小企業の事例発表や、セミナー終了後の女性活躍推進専門員による個別相談を実施し、意欲のある企業の発掘を図った。 ・ミモザ企業認定制度においては、令和6年度に、認定に挑戦しやすい「フレッシュミモザ企業」の区分を新設し、県内企業における女性活躍推進のさらなる機運醸成に努めている。 ・令和6年度から、県内学生とミモザ企業のマッチング促進事業を実施しており、県内大学生等によるSNSを活用したミモザ企業の魅力発信やミモザ企業による大学への出前講座等により、認定企業の好事例を発信している。

事業に要するコスト

区分		５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①		13,908 千円	23,779 千円	24,252 千円	25,329 千円
経費内訳	報酬・賃金	9,362 千円	14,886 千円	15,389 千円	16,426 千円
	委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	4,546 千円	8,893 千円	8,863 千円	8,903 千円
（財源内訳）	(国庫)	(6,672千円)	(6,048千円)	(5,647千円)	(5,440千円)
	(特定)	(563千円)	(566千円)	(565千円)	(566千円)
	(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	(一般財源)	(6,673千円)	(17,165千円)	(18,040千円)	(19,323千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		13,908 千円	23,779 千円	24,252 千円	25,329 千円
執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費③（a＋b＋c）		従事人員 0.3人 2,586 千円	従事人員 0.3人 2,586 千円	従事人員 0.3人 2,699 千円	従事人員 0.3人 2,831 千円
職員給与費	a	2,249 千円	2,217 千円	2,371 千円	2,462 千円
賞与引当金繰入額	b	172 千円	187 千円	178 千円	187 千円
退職手当引当金繰入額	c	165 千円	182 千円	150 千円	182 千円
総コスト(①＋③)		16,494 千円	26,365 千円	26,951 千円	28,160 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　　様式３

	指標名	区　分	５年度実績	６年度実績	７年度実績	８年度目標	最終目標【年度】
評価指標	成果指標(アウトカム指標①) 民間における女性管理職比率 (ひょうご男女いきいきプラン2030(R8～R12)) ※直近値：19.1%(R4)	目　標	25	25	25	25	25
		実績（見込）	ー	ー	ー	(25)	【R12年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	--	(1,126 千円)	
		達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標②) ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定数(累計) (R4～)	目　標	80	164	189	214	314
		実績（見込）	139	198	244	(269)	【R12年度】
		(単位当たりコスト)	(119 千円)	(133 千円)	(110 千円)	(105 千円)	
		達成率（見込）	173.8%	120.7%	129.1%	(125.7%)	
	成果指標(アウトカム指標③)	目　標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標①) 中小企業等の階層別女性社員研修会参加者数(R4～)	目　標	90	90	90	90	90
		実績（見込）	89	99	105	(90)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	(185 千円)	(266 千円)	(257 千円)	(313 千円)	
		達成率（見込）	98.9%	110.0%	116.7%	(100.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標②) 女性の活躍応援セミナー開催回数（R6～）	目　標	ー	10	10	10	10
		実績（見込）	ー	12	13	(10)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	--	(2,197 千円)	(2,073 千円)	(2,816 千円)	
		達成率（見込）	--	120.0%	130.0%	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標③)	目　標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	終期設定	有（　　）・（無）					
	改善基準	ー					

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	・トップ層の意識改革・女性社員のﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝ向上のための研修については、目標を達成 ・ミモザ企業の認定数についても、目標を達成しており、制度の浸透が進んでいる	B：ほぼ満足のいく実施状況 ・女性活躍推進専門員が、企業への個別相談や企業トップを対象とした研修を実施し、ミモザ企業認定数（アウトカム指標②）、研修会参加者数及びセミナー回数（アウトプット指標）の目標値をの目標値を達成していることから、一定の評価はできる [参考：成果指標②ミモザ企業認定数の目標値について] ・R4の制度開始時は50件/年（初年度のみ30件）を目標値に設定 ・R6のフレッシュミモザ制度導入に際して、ミモザ：25件/年、フレッシュミモザ：50件/年へ見直し
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	・R4からミモザ企業認定数を指標とすることで、県内の女性活躍の推進状況や施策効果の発現状況を効率的に把握し、効果的な施策の立案に活用 ・個別相談支援や研修についても、オンラインを併用するなど工夫を行っている	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：企業トップへの意識改革を十分に行うため、企業訪問による個別相談等の説明内容や、セミナー開催内容の改善について引き続き検討していくとともに、ミモザ企業認定制度の周知を進め、年間25社以上の企業を着実にミモザ企業として認定する。これらを通じて、県内企業全体における女性活躍の取組を進める。

外部委員会意見

・企業トップの意識改革が重要である中、経営者向けセミナーの制度化やセミナー開催回数をアウトプット指標化するなど、企業トップの意識改革への働きかけ強化に取り組んできたことは評価できる。
・女性活躍推進専門員の増員や個別相談の実施に加えて、「フレッシュミモザ企業」区分の新設による認定制度のミモザ企業制度の裾野拡大や県内大学生等によるSNSを活用したミモザ企業の魅力発信など、女性活躍推進の取組を伴走支援として実施していることは評価できる。
・経営者向けセミナーの拡充など取組みが進んでいる中で、本気度があがって各階層ごとに取組み拡大や経営者と従業員の対話会実施、継続して様々な取組みを行う企業がでてきている。そういう好事例・ベストプラクティスを共有して他企業の参考になるよう発信や共有を強化してはどうか。
・企業同士の学びあい、業界ごとの取組みの勉強会なども行えると業界全体の推進にもつながると考える。
・関係部局横断で連携し、企業への働きかけを一体的に行うことで、限られた専門員リソースの効果を最大化することを期待したい。